

平成24年1月教育委員会会議の要旨

議案

議案第1号『山口県教育委員会表彰規則による表彰について(報告承認)』

【概要】

山口市立小郡南小学校 ^{はらだ} ^{まさお} 原田 雅夫の死亡退職に伴い、教育長が臨時に代理して永年精勤として表彰したことを報告し、承認された。

意見交換

◆『コミュニケーション能力の育成』について意見交換した。

【概要】

1 子どもたちのコミュニケーション能力の現状と課題

○「コミュニケーション能力」に関する指摘・調査等

[文部科学省：コミュニケーション教育推進会議]

*友達や仲間のことで悩む子どもが増えるなど人間関係の形成が困難かつ不得手になっているとの指摘もある。(中央教育審議会 H20. 1. 17)

*コミュニケーション能力、対人関係能力など、職業人としての基本的な能力の低下や職業意識・職業観の未熟さなどが多く指摘されている。

(中央教育審議会キャリア教育・職業教育特別部会 H22. 5. 17)

*企業が、採用選考に当たって特に重視する点としてコミュニケーション能力を挙げている。(日本経済団体連合 アンケート調査)

○山口県の課題

県教委として、コミュニケーション能力の育成について、県内のこれまでの取組の現状と課題を整理 (平成20年度プロジェクトまとめ)

*活動を振り返り、そこから学んだことなど、自分の考えを記述し、伝え合う力の育成

*他者の考えを聞き、自分の考えを表現することを通して、互いに認め合い、支え合う子どもの育成

2 コミュニケーション能力を育む教育の推進

○ 山口県教育ビジョン第3期重点プロジェクト推進計画に、教育活動を展開するに当たっての3つの基軸の一つとして位置付け、取組を推進

生涯にわたって一人ひとりが自立し、社会の一員としてその役割を果たしていける子どもたちを育成することがますます重要であり、社会や人とのより良い関係を築くコミュニケーション能力の育成を図ることが必要

★コミュニケーション能力を育む教育

人や社会とのかかわりを通して、自他を尊重し、認め合い、高め合う力の育成

(山口県教育ビジョン第3期重点プロジェクト)

- 学校での実践のために「新学習指導要領実施上の手引き」に趣旨や展開例を掲載し、取組を推進

【コミュニケーション能力育成のポイント】

- ・伝え合う能力
- ・よりよい人間関係を形成しようとする態度

3 各学校の取組例

- 算数的活動を通じたコミュニケーション能力の育成
 - ・周南市立徳山小学校
- 生活科の授業におけるコミュニケーション能力の育成
 - ・萩市立明木小学校、佐々並、川上小学校
- 外国語活動の推進によるコミュニケーション能力の育成
 - ・防府市立富海小学校、富海中学校
- 芸術表現体験を通じたコミュニケーション能力の育成
 - ・山口市立佐山小学校
- 職場体験活動を通じたコミュニケーション能力の育成
 - ・長門市立三隅中学校
- 学び合いのある授業の推進によるコミュニケーション能力の育成
 - ・宇部市立常磐中学校
- 言語活動の充実によるコミュニケーション能力の育成
 - ・周南市立富田東小学校

4 課題

- 「コミュニケーション能力の育成」を本県の課題の一つとしてとらえ、3つの基軸の一つとして、全県的に取組を進めていくことについては浸透しつつあるが、組織的な取組を一層推進する必要がある。

5 今後の取組

- 3つの基軸の一つとして、「コミュニケーション能力」を身に付けさせる組織的な取組を充実
 - ・「手引き」の活用等による、言語活動、道徳教育、体験活動の充実など、学習指導要領改訂の趣旨を踏まえた取組の全県的な推進

【主な意見】

- 子どもたちのコミュニケーション能力の育成を学校で行う背景には、一極集中型の都市化や核家族化、家族に兄弟が少なくなっているなどの社会情勢の変化や家庭、地域、学校の関係性・帰属意識が希薄になっていることに要因があると思われる。
- 子どもたちが安心してコミュニケーション能力の育成を取り入れた授業に取り組めるように、ある子どもが話をしている際は、周りの子どもたちはしっかり聞くなどの基本的なルールを作り、もし子どもたちがその取組の中で話すことに失敗しても、次もチャレンジしようと思わせることが必要ではないか。
- 教員が授業を含めた子どもたちの学校生活の中で、子どもたちをしっかりと見ていき、コミュニケーションを取ることが苦手な子どもたちをフォローしていくことも重要ではないか。
- 子どもたちにコミュニケーション能力の育成を行う際には、その地域の伝統や特徴などを用いてほしい。地域の良さを知るために、地域の方々とのコミュニケーションを取る機会が増えるとともに、社会に出た際に、山口県らしさを持った子どもに育つのではないか。
- コミュニケーション能力の育成には、学校外の人たちとの関わり合いや、学校外での取組を実施することが大事であると思われる。そのため、山口県の教育活動の展開にある3つの基軸の一つであるキャリア教育と合わせて、子どもたちに様々な体験をさせてはどうか。
- 子どもたちが社会に出た際には、世代や考え方が異なる方々ともコミュニケーションをとる必要があるため、学校における授業だけではなく、学校外でのコミュニティ・スクールやボランティア活動を活用してはどうか。